

進路だより

茨城県立
協和特別支援学校
進路指導部
第 2 号
令和5年6月9日発行

高等部 第 I 期 校内・現場実習

6月12日(月)～23日(金)までの2週間、高等部第I期の校内・現場実習が実施されます。

1年生を対象として実施している校内実習では、作業体験等を通して、自分の得意不得意に気付くことや、働く力を高めること、これからの学校生活における目標をもつことなどを主な目的としています。2、3年生を対象として実施している現場実習では、働くことに対する意識や意欲を高めること、進路先決定に向けた手がかりを得ること、職場適応能力を高めることなどが主な目的となっています。

多くの企業、一般事業所、福祉施設のご協力のもと、貴重な進路学習を経験させて頂いています。

◆R5 高等部 第 I 期現場実習協力先事業所

<福祉事業所> ○有り・・・新規実習先

【筑西市】

| | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 社会福祉法人 慶育会 白山成年館多機能型 ワークしもだて | 社会福祉法人 慶育会 白山成年館多機能型 つどい |
| 社会福祉法人 征峰会 ライフサポートヒラソル | NPO 法人 歩実 |
| 就労継続支援 A 型事業所 合同会社 あか楽 | 合同会社ここ 障害者多機能型事業所 たまご |
| 社会福祉法人 上の原学園 福祉サポートセンター樹々 | 社会福祉法人 あけの会 ふれあいの里 中山園 |
| 就労支援サービス イマココ | あやとりワーク筑西 |
| 就労継続支援 B 型事業所 筑西カルディア | 株式会社 スイッチ |
| 就労継続支援 B 型事業所 すまいる工房あおい | ロメオ障害福祉サービス1号館 |
| ○ NPO 法人 あんびしゃす ジョブライフ Rabbit | NPO 法人 きなり |

【桜川市】

| | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 社会福祉法人 桜川市社会福祉協議会 時計台 | ○ 就労継続支援 A 型事業所 イナバファーム桜川 |
| 社会福祉法人 上の原学園 上の原学園成人寮 | 合同会社アビリティイズム アビリティセンター |
| 社会福祉法人 桜川福祉会 さくらのおか 多機能型事業所 | |

【その他】

| | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| NPO 法人 あんびしゃす ジョブライフ PEACH (結城市) | 株式会社 MYS 就労継続支援 A 型事業所 にこにこ(下妻市) |
| 障がい福祉サービス事業所 株式会社モード・ライラック 益子マインド | 社会福祉法人 飛山の里福祉会 ハート二宮そうそう長沼(栃木・真岡市) |
| 就労支援施設 39PLAZA(ひたちなか市) | |

<一般事業所等> ○有り・・・新規実習先

【桜川市】

| | | |
|-----------------|----------|---------------------|
| (株)大和 LIXIL 製作所 | ○カインズ岩瀬店 | 株式会社 カスミ フードスクエア岩瀬店 |
|-----------------|----------|---------------------|

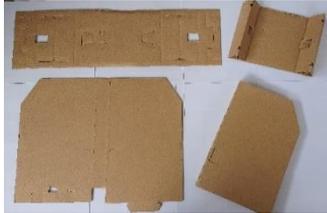
【筑西市】

| | |
|-----------------------------|-------------|
| 社会福祉法人 関耀会 特別養護老人ホーム まごころの杜 | TAIRAYA 真壁店 |
| ダイナパック株式会社 | 株式会社 正栄デリシィ |
| 片倉コープアグリ株式会社 | |

◆ 高等部第 I 期校内実習 部材等協力企業

○今年度も、下記の企業より校内実習の部材を借用して実習を実施しています。

株式会社大和 LIXIL 製作所



☆緩衝材の箱折り

茨城県総合検診センター 県西センター



☆検尿キットの袋詰め・チラシ折り

◆各部の進路の目標

| 自分らしい生き方を実現する力を培う | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|---|
| 小学部 | 中学部 | 高等部 |
| 基本的な生活習慣(日常生活能力)や 集団適応力を身に付ける。 | 自分でできることを増やし、生活力を 身に付ける。 | 一人一人のもてる力を発揮し、自立 と社会参加ができる知識・技能・態度 を身に付ける |

◆卒業後の『進路』 ~つぶやき~



保護者の方から、「進路についてと言われても分からない。」「進路を決めるために何をしたらいいの?」「いつから、何をすればいいの?」などの声が聞こえてきました。まだ小学部、まだ中学部、高等部になってから考えればいいのか?と卒業後の進路について不安が多いと思います。『進路』というと高等部からのイメージが強いように思われますが、小学部入学と同時に進路に向けての教育は始まっています。各学部で必要な力を、授業や日常生活の中で、身に付けていきます。難しく考える必要はありません。「お手伝い」「着替え」「整理整頓」「あいさつ」「遠足」「買い物学習(校外学習)」「作業学習」「宿泊学習」「修学旅行」「授業」等、すべてが進路に繋がっています。そのため、日々の生活が大切になっていきます。このように考えると、あえて何かをするのではなく、毎日取り組んでいることが『進路』に結びついているということになります。これで少し不安が減るのではないのでしょうか!



特集👉 進路動画①

今回は、「障害者就業生活支援について」

下記よりご覧ください。

<https://sway.office.com/ecSly87zMI2uGVQQ?ref=Link>

※通信料は各ご家庭の負担となります。



☆ 障害者就業・生活支援センターは、一般企業への就職を希望する障害のある人への支援や、日常生活に関わる支援などを行っています。また、企業に対する雇用管理の助言なども行っており、障害者雇用促進の一環として全国で実施されています。



(再生時間3:25)

引用: <https://www.youtube.com/watch?v=FNbgdibH2ts>